

新潟県埋蔵文化財センター出張展示

「One Case Museum」関連講演会

縄文時代の編み物と食料貯蔵

縄文時代の有機質遺物は、近年の発掘調査で急速に解明されつつあります。

東日本大震災復興支援で本県派遣職員が発掘調査した福島県南相馬市鷺内遺跡^{さぎうち}では、編み物に入れられた縄文時代のクルミの実が出土し、全国的に注目されています。これを契機に当時の編み物・食料貯蔵をテーマとした展示を行い、あわせて関連講座を開催します。

日時 平成31年3月24日(日) 13:00~16:00

会場 新潟大学附属図書館ライブラリーホール

(新潟市西区五十嵐二の町8050)



定員 260名(先着順)

交通案内 JR新潟大学前駅から徒歩15分、JR新潟駅からタクシー30分

※図書館専用駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

問合せ先 新潟県教育庁文化行政課

電話 025-280-5620 E-mail:ngt500080@pref.niigata.lg.jp



村上市・長割遺跡出土の土器 底部に残る編み物痕(縄文時代後期/約4,000年前)



南相馬市・鷺内遺跡出土のクルミ入り籠(縄文時代晩期/約3,000年前)

プログラム

12:30	受付開始	
13:00	開会	
13:05~13:35	「出土品解説・東日本大震災復興支援発掘について」	加藤 学(新潟県教育庁文化行政課)
13:35~14:35	「新潟県における縄文時代の編み物と食料貯蔵」	佐藤雅一 氏(津南町教育委員会)
14:35~14:45	休憩	
14:45~15:45	「福島県南相馬市鷺内遺跡発見のクルミ入り籠」	川田 強 氏(南相馬市教育委員会)
15:45~15:55	質疑応答	
16:00	閉会	

※ 耳の不自由な方のための情報保障(手話通訳・要約筆記)があります。

※ まいぶんちゃんスタンプラリーの対象講座です。